

2022年5月13日
株式会社サカイ引越センター

2022年3月期 決算説明会における主な質疑応答

※ 本資料は説明会での質疑応答に当社にて適宜加筆・修正等を加え、その要旨を記したものです

Q. 2022年3月期単価の上昇の要因及び 2023年3月期の単価の見込みは？

2022年5月13日月期 上半期が厳しい状況であったため、下半期は単価もかなり意識し、特に第4Qに関しては、コロナ罹患者が増加する中で、いかに売り上げを伸ばしていくかという点に注力した結果だと考えている。

2023年3月期に関しても、価格ではなく品質で選んでいただけるように、取り組みを進める。

Q. 繁忙期の働車の状況は？

上半期の反省を生かし、取引企業を増やすと共に通年契約を結びなおしたことで、下半期は抑制することができた。

Q. リユース事業の今後の展望は？

リユース事業を担う、グループ会社 ジェイランドは売上を伸ばしているが、利益は、コロナ禍の巣ごもり需要があった前年に比べると利益は減少している。

現在も、商品は順調に買取を進めているが、金の高騰から利幅の少ない貴金属類の取引が増えており、利益が減少している要因になっている。

今後は、人口も引越需要も大きな関東圏での買取はもちろんその商材を販売する店舗展開も進めることで、成長していきたい。

Q.財務戦略に関して

資金は、企業価値を上げられるよう、有益な投資に使っていきたい

Q.エンゲージメントサーベイの弱みの改善方法を教えて欲しい。また、それによるコスト増加はあるのか？

定期昇給等の待遇改善は実施しているが、制度待遇への期待値は高く、その部分での乖離があるという指標が出ている。これは、単純に給与の問題だけではなく、評価制度などにもかかわってくる事だと考えている。また、部署内での意思疎通の不足などは、部署個別に丁寧に対応していき、PDCAを回しながら改善に努める。

待遇面のドラスティックな変化は、今後の状況を見ながら検討していくが、財務面へのインパクトが大きくなることはないと考えている。

Q.2023年3月期の予測は。また2022年3月期の当期純利益の変動理由は？

2023年3月期も引き続き、品質重視で価格に関わらず選んでいただけるように取り組みを進めて行く。4月の売上高はよい数字が出たが、新型コロナウイルスの影響は今後も不透明な部分もあり、予算は堅めに抑えている。

2022年3月期当期純利益は、八王子支社の土地評価の下落による減損が5億800万円あったため変動している。

将来を見据えて、チャレンジの1年として、速度を上げていきたいと考えている。そのための仕組みづくりを進めて行くため、利益も抑えた形の予算としている。

Q.価格の向上を図るのか？また、同業のM&Aを考えているのか

単価の上昇は目指していくが、高価格帯だけではなく、低価格帯も取り込んでいけるように取り組みを進めて行く。

同業のM&Aは、今までは文化の違いからの軋轢を危惧していたが、今は状況をみて協業ができるようであれば、検討していきたい。

Q.2022年3月の数字の影響について

2021年3月が、急な法人需要によりかなり多くの受注を頂いた。2022年3月はその経験をもとに、従業員の労働環境にも配慮して、受注の状況を管理してきたため、減少している。

Q.成長投資の資本生産性は具体的に何を意味しているのか

投資を次の投資に回し、福利の経営を目指し、長期的に見て、新しい利益を生む期待を持てる部分へ投資を進めて行く。

以上